



学校便り

長崎中央日見中学校

令和4年9月1日

第10号

文責 校長 平野

～ 修身 齐家 治国 平天下 ～

夏休みが終わり、今日から2学期が始まります。校長講話では、標記、論語の精神を示したことばを紹介しました。



長崎孔子廟

「身を修め 家を斉し 国を治め
もって 天下を平らかにする」
という意味です。

本年度は、特に平和教育に力を入れています。しかし、世界平和を目指すなら、まず自分自身が正しい行いができなければいけません。そのうえで、周りの人に優しく接することを心がけ、しっかり勉強して大人になって政治（選挙）に参加することが必要です。

早速、9月16日には、孔子廟の方々による講話と変面ショーが予定されています。孔子の教えにもう一度触れ、自分たちのあるべき姿を確認したいと思います。



受験勉強に必死に取り組んだり、駅伝練習に毎日汗を流したりして、夏休みはそれぞれ頑張ってお過ごしたことと思います。



その成果と課題を生かし、「修身齐家治国平天下」のことばを心に留め、充実した2学期とすることを望みます。

【 2学期学級委員 】

1年生

1組 久松 絢太 本庄 栞菜
2組 井手 太一 松尾 咲良

2年生

1組 芳野 翔優 佐原 和花
2組 川口 陽平 吉田 凜

3年生

1組 前川 響 三浦 歌恋
2組 蓑浦 大也 高比良 羽奏

【 大会の結果 】

全九州中学生総合体育大会 男子バドミントン
団体戦 優勝（連覇）

個人戦 シングルス 草ノ瀬 2位・村川 3位
ダブルス 吉次・後藤 優勝
増田・左村 3位

全日本中学生総合体育大会 男子バドミントン
団体戦 3位



【 お知らせ 】

お休みされている大隅 理恵子 先生 に代わり、2学期は大渡 順子 先生 が着任され国語の授業を担当することになりました。

2年2組の担任は、学年主任の 葛岡 先生 が兼任します。どうぞよろしくお願いいたします。

【 9月の行事予定 】

- 1日（木） 始業式・学級委員任命式
- 6日（火） 弁護士 法教育（3年生）
- 7日（水） 修学旅行説明会（2年生）
- 8日（木） 表彰受納式・生徒集会
- 13日（火） 道徳「論語と算盤」
- 15日（木） 学校保健委員会
- 16日（金） 孔子講話・変面ショー 10:45～
- 19日（月） 敬老の日
- 23日（金） 秋分の日
- 27日（火） 高田明 氏 「平和と算盤」 講話
場所：日見中体育館 時間 14:00～
- 29日（木） 生徒集会
- 30日（金） 市中総体駅伝大会 激励式

※ 市教委の教職員向け通信「スクール・カピタン」7月号に、本校のキャリア教育が掲載されました。裏面に転載しましたのでご覧ください。



チームリーダー発掘・育成通信



令和4年7月《第18号》

スクール・カピタン

【長崎市教育委員会】

〒850-8685 長崎市桜町 2-22
095-829-1196 (学校教育課)

今月号は、日見中学校 平野 俊男 校長先生から「キャリア教育の実践」について、寄稿いただきました。

「日見中 キャリア教育」

長崎市立日見中学校 校長 平野 俊男

「人間も立派 お金もう

けも上手 そんなカッコイイ大人には どう

したらなれますか」

これから1万円札の

顔になる渋沢栄一氏の

ことを書いた「こども

論語と算盤」の本の帯

にあった言葉です。

早速この本を図書室

に置き、全校集会や学

校便りで紹介しました。



論語＝「世のため人のため」と算盤＝「自分の利益」は遠いように見えて実は近い関係にあることを教えるために、この言葉ならストレートに子ども達の心に届くと思ったからです。

そして、それは例えば誰だろうと考え、頭に浮かんだのは高田明氏の顔でした。

平戸のカメラ屋を一代で年商1700億円の企業に成長させ、今は平和の実現を口にしてしている彼こそ、令和の渋沢栄一ではないかと考えたからです。

それから、何としても直接本人の話を中学生に聞かせたいと思い、即問い合わせ。約半年におよぶやり取りを経て、ついに来ていただけることになりました。

テーマは「令和の渋沢栄一：高田明が中学生に語る ～平和と算盤～」です。

「お金」・「社会貢献」・「自己実現」、この3つを結びつけることがキャリア教育にとって大切です。

「お金」と「社会貢献」だけでは生まれにより職業が決まる「世襲制」のようだし、「社会貢献」と「自己実現」だけでは「ボランティア」みたくです。また、「自己実現」と「お金」だけでは「ギャンブルや詐欺」のようになってしまう。

しかし、この3つを同時に実現させることは簡単なことではありません。

特に、混迷の時代を生きていく子ども達が自らのキャリアを切り開いていくためには、基本に立ち戻って考えさせるとともに、理想の自分をイメージさせることが必要ではないかと思えます。

そこで、日本の資本主義が「論語と算盤」を軸にして立ち上がったことを学ばせ、次に、高田氏の話から「そんなカッコイイ大人になりたい」という夢や憧れ・志を抱かせたいと考えています。